

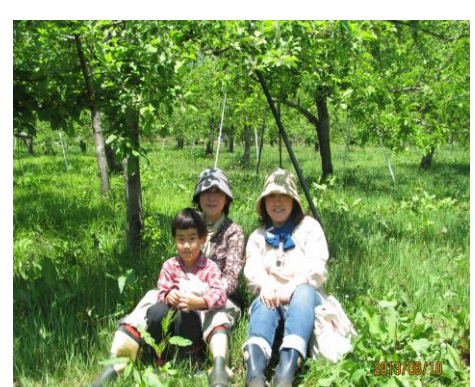
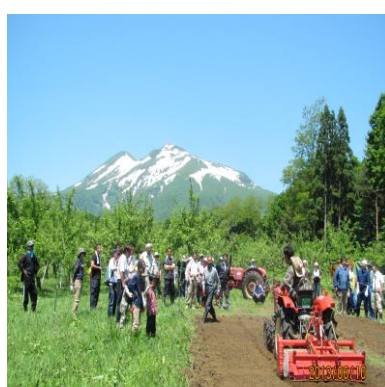
2013. 6 VOL 63 おいしいおとうふを求めて  
社長のひとり言 株式会社手造り屋 社長の岩崎勉です。

## おとうふ日和

おとうふは、どんな薬よりも勝るもの。そのままよし、煮てもよし、焼いてもよし。  
本物の食はすぐそこにありました。



6月は「奇跡のリンゴ」の「木村秋則さんのりんごの畑に大豆の種を蒔いている風景」を紹介したいと思います。6月10日10時から地元の施設の生徒さん40名ほどの応援を得て種蒔きが木村秋則さん指導で始まりました。まだ岩木山に雪がのこっていてリンゴの木との風景絵になるほど綺麗な風景の中での大豆の種蒔きです。



6点の写真をご紹介いたしましたが、この風景、この土、この在来種大豆の姿、応援をしてくださった大勢の方々のこころある笑顔、この透きとおった空気、木村秋則さんが11年かけて築きあげたりんご畑で大豆を蒔けることの幸せな自分を感じました。

自然栽培とは農薬も使わない、化学肥料を使わない、有機肥料、有機堆肥も使わない、それでバクテリア（微生物）の住みやすい土地にして、植物も住みやすく、それを食べた人も元気になる農法です。放置栽培ではなくりんごの樹乃実になって「こころ」をいれる栽培が木村さんの自然栽培です。「NHKのプロフェッショナル」そして「奇跡のリンゴ」の映画と皆さんに感心が深いのは、農薬とか、添加物とか、行き過ぎた効率化機械化とか、今の行き過ぎた考えの反省、自然の良さの大切さが、大勢の人に理解されてきたのだと思います。人にも100兆個ともいわれる微生物との共存が大切と聞きました、土の中と同じですね。木村秋則さんの栽培方法これからは大事ですね。

でも難しいです。想いは困難を克服して達成される、その困難の期間は10年の忍耐、木村さんは自分の困難な時代を「ばかになればよい」という本をだしています。